



主旨説明

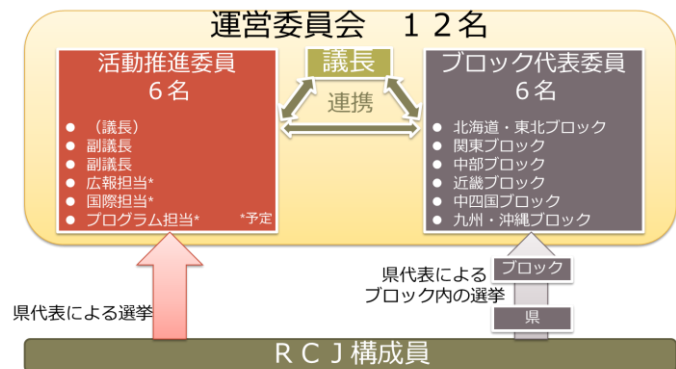
RCJの構造改革およびこれに伴う活動推進委員の推薦について

平成29年度全国ローバースカウト会議運営委員会

1. RCJの構造改革（案）

2017年の夏、アゼルバイジャン国で開催された第13回世界スカウトユースフォーラムに参加した4人の日本代表ローバースカウトは、世界スカウト機構や様々な加盟国の青年層の組織構造や制度について知見を深めてきました。この派遣団による同フォーラム参加報告書から、RCJ運営委員会活性化のための組織構造に関する提言を受け、RCJ運営委員会内でその必要性が議論されるようになり、2017年11月から構造改革案の草案を作成し、RCJ県代表との意見交換を経て、当該改革案の議論を深めてきました。

これらのことから、今回の構造改革案は、RCJが全国のローバースカウト活動の発展に、より幅広く貢献することをねらいとし、運営委員会内の業務を明確に分担することにより全体としての業務拡充を促すものです。現状、運営委員会は2人の前年度留任委員と6人のブロック代表委員の8人で構成されていますが、この留任枠を含め、新たに4人の**活動推進委員**を設けます。これにより、ブロック代表委員はブロック構成県連盟のローバースカウト活動促進の支援に注力し、その一方で活動推進委員は運営委員会の中核メンバーとして委員会運営および全国のローバースカウト活動に関する議論に携わることとなります。ブロック代表委員と活動推進委員双方の連携により、RCJとして構成員それぞれのローバーリングの発展にこれまで以上の貢献が可能になることが期待されます。



2. 活動推進委員について

活動推進委員は、RCJ運営委員会においてローバースカウト部門の活動活性化のための議論の中核的な役割を担い、主な任務としては以下のようなものが期待されています。

i. 「組織運営」

運営委員会やRCJ全体としての組織運営に携わる。

ii. 「ローバースカウト活動の中核的な議論の促進」

ローバースカウトハンドブックの再編やローバースカウト部門に関わる規程改正の提案など、構成員全体に関わるような中核的議論を促進する。

iii. 「各種委員会や日本連盟コミッショナーとの連携」

ローバースカウトの活動環境改善のため、各方面との連携を図る。

3. 改革案スケジュール

今回の活動推進委員の募集は、RCJ憲章の9条「運営委員会」および10条「運営委員の選出」に関わるため、平成30年5月に開催されるRCJ総会において、構造改革案およびRCJ憲章改正案が可決された場合にのみ、立候補が有効になるとの条件のもとで公募を行うこととなります。

以上